

講義名	実践系プロジェクト科目（店舗デザイン）			
担当教員	羽藤 雅彦			
開講期・曜日・時限	後期集中 その他 その他	授業形態	演習	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要

小売業の多くは店舗を持ち、そこで商品やサービスの販売を行います。この時、店舗のデザインの良し悪しは消費者を引き付ける上で極めて重要な意味を持ちます。昨今の商業環境の変化によりマーケティングの方向性が変化し、ビジネスにおけるデザインの考え方の重要性は高まっています。本講義では、小売業の店舗デザインの業務や理論について、皆さんに理解と関心を持っていただくこと、またマーケティングを学ぶ者として身に付けておきたい知識・店舗デザインの基礎力を磨くことをねらいとしています。なお、講義については株式会社ディ・ブレイン研究所の協力を得て行います。

オンデマンドの受講では到達目標を達成することが難しいため、対面での開講とする。
ただし、新型コロナウイルス感染症の感染者または、濃厚接触者に指定され、一時的に通学が困難となった学生に対しては講義内容の理解と課題提出をオンラインでできるようにする。

到達目標

店舗デザインの理論や業務に関する知識を身につけ、店舗のデザインを一人でできるようにする。

提出課題

数回の提出課題を課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

その都度講師から直接フィードバックを行います。

評価の基準

実習課題の提出 100%
ただし、出席状況によっては単位修得を認めない場合があります。
遅刻は認めません。

履修にあたっての注意・助言他

本講義では、使用する教室の制約や実習を伴う内容であることを考慮し、受講者数の定員設定を行います。また、事前に用意していただく道具を指示します。

教科書	.使用しない。				

プリント資料及び参考文献

プリントを随時、配布します。

授業計画

小売業と店舗デザイン概論1
小売業と店舗デザイン概論2
小売業と店舗デザイン概論3
デザインの基礎実習1
デザインの基礎実習2
デザインの基礎実習3
店舗デザイン基礎実習
小売業とデザインの関係
店舗デザイン基礎実習
小売業とデザインの関係
店舗デザイン基礎実習
小売業とデザインの関係
プレゼンテーション
プレゼンテーション
プレゼン総括

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

普段見物をする際、どういった店舗デザインになっているかを注意しながらみてください。
コンビニとスーパーで異なるのはもちろんですが、同じチェーン店でもデザインが異なることもあります。
また、店舗に入った際、自分はもちろんですが他のお客さんがどのように動いているかも意識しながら観察してみてください。
予習 30分時間
復習 30分時間

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

店舗のデザインが消費に及ぼす影響を理解し、それをいかに実践するかを理解する。現場の視点からマーケティング全般を学ぶことを目指す。
また、実務家からの講義を通じて、実務ではどういったプロセスを経て店舗をデザインしていくか、また、どういった考えでデザインされるかを理解し、受講者が社会に出た際に活かせる力を養う。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

4,5人に対し1人の講師が付き説明する予定です。受講者の人数によって変わるかもしれませんがパソコン（パワーポイント）を利用して最後はプレゼンをしてもらいます。

実務経験の有無及び活用

店舗デザインに関する仕事をしている株式会社ディ・ブレイン研究所の方に協力してもらいます。

備考

新型コロナウイルス感染症の状況によりシラバスの修正があります。